



昭和34年（1959年）9月26日～ 27日

伊勢湾台風

（高潮による被害顕著、台風による死者・行方不明者最大）

名古屋地方気象台



伊勢湾沿岸で記録的な高潮被害

名古屋市を含む伊勢湾沿岸や知多半島で、高潮による大規模な浸水被害

【概要】

9月21日にマリアナ諸島の東海上で発生した台風第15号は、26日18時頃和歌山県潮岬の西に上陸した。勢力が強く暴風域も広がったため、広い範囲で強風が吹き、伊良湖で最大風速45.4m/sを観測。紀伊半島を北上したため、伊勢湾周辺では、最大風速が南寄りの暴風となり、記録的な高潮（名古屋港で21時35分に3.89m）が起こった。

紀伊半島沿岸一帯と伊勢湾沿岸では激しい暴風雨の下、高潮により短時間のうちに大規模な浸水が起こり、さらに強風や河川の氾濫により、愛知県では名古屋市などで、死者・行方不明者が3,200名以上に達する大きな被害となった。



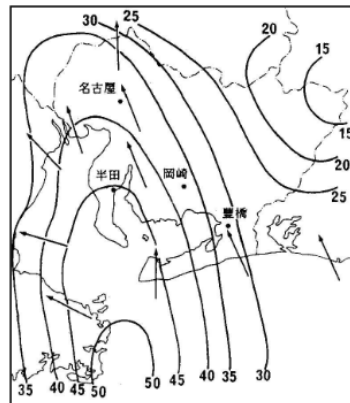
名古屋市の被害状況
(名古屋市伊勢湾台風災害誌)

| 人的被害 (人) | | 住宅被害 (戸) | | | |
|----------|--------|----------|--------|------|---------|
| 死者 | 3,168 | 全壊 | 23,334 | 床上浸水 | 53,560 |
| 行方不明 | 92 | 半壊 | 97,049 | 床下浸水 | 62,831 |
| 負傷者 | 59,045 | 流出 | 3,194 | 非住家 | 115,600 |

愛知県被害状況
(愛知県 伊勢湾台風災害復興誌)

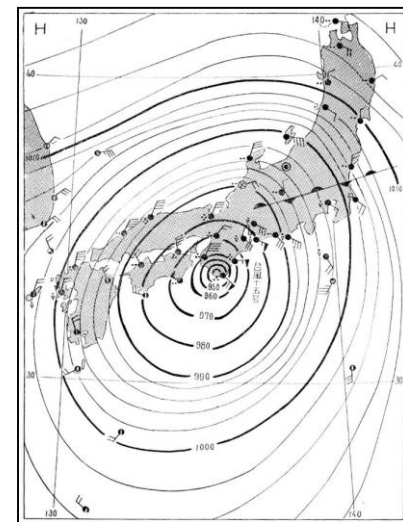
| | 最低海面気圧 | 最大風速(10分間平均) | 最大瞬間風速 |
|-----|-----------|--------------|-------------|
| 名古屋 | 958.2hPa※ | 南南東37.0m/s※ | 南南東45.7m/s※ |
| 伊良湖 | 964.6hPa | 南 45.4m/s※ | 南 55.3m/s※ |

1959年9月26日の観測記録 ※気象官署の観測開始以来の極値



最大風速(m/s)とその風向(1959年9月26日)

伊勢湾周辺では南寄りで40m/s前後の暴風となり、気象官署では観測開始以来の極値を記録している。

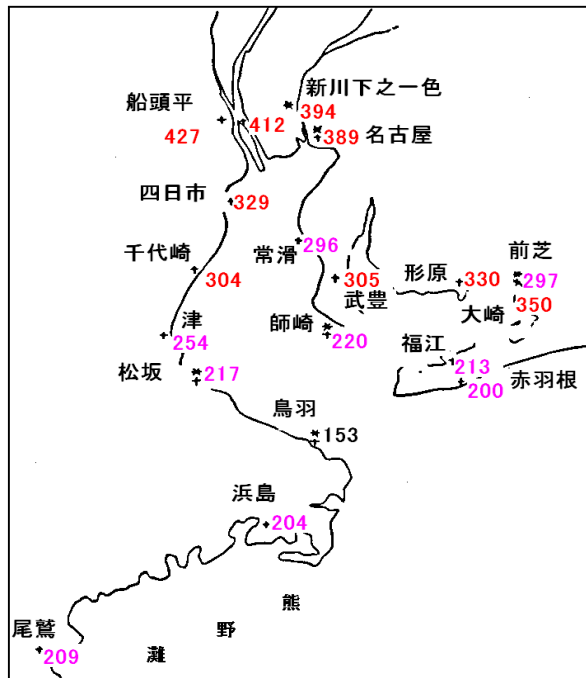


地上天気図
(1959年9月26日18時)

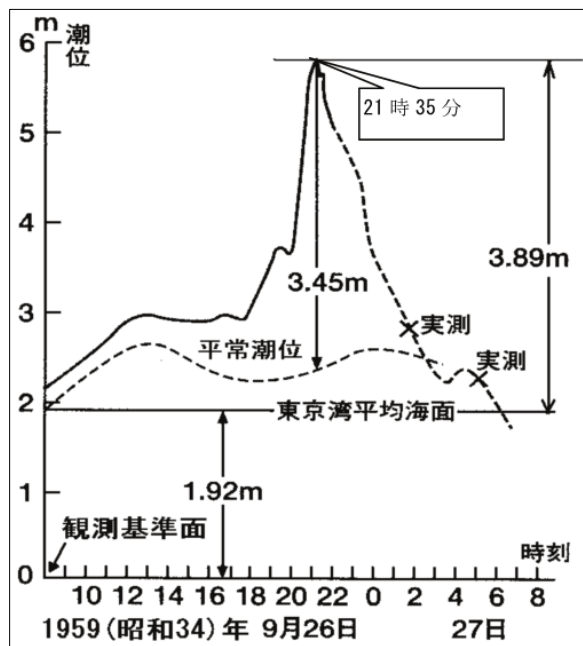


【高潮の状況】

台風が非常に強い勢力を保ったまま紀伊半島を北上したため、南側に開けた伊勢湾では、南からの暴風による吹き寄せ効果と気圧の下降による海面の吸い上げ効果等が重なり、記録的な高潮が発生した。湾口付近では2m弱であったが、満潮時を外れていたにもかかわらず、湾奥の**名古屋港では潮位が標高3.89メートルの観測史上最高潮位を記録した。**



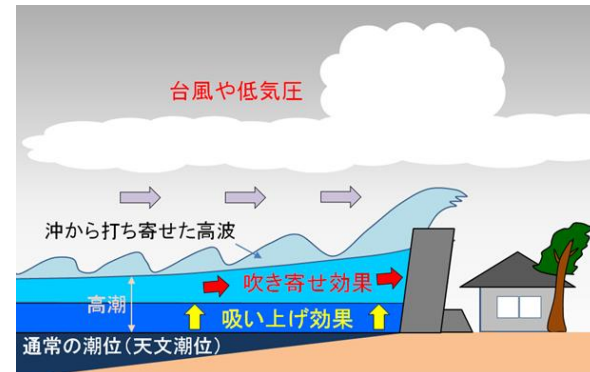
各地の最大潮位
(名古屋市伊勢湾台風災害誌)



名古屋港の検潮記録



名古屋市の被害状況
(名古屋市伊勢湾台風災害誌)



高潮の仕組み